

研究開発内容説明図

地域活性化政策立案のための音響信号による“賑い度”調査プラットフォームの研究開発

阿部匡伸

岡山大学大学院自然科学研究科

研究開発期間: フェーズⅠ: 平成27年度 フェーズⅡ: 平成28年度～平成29年度

1. 研究開発の目的

政策立案には実態把握が欠かせない。本研究では ICT を活用して、安価で効率的に、かつ、従来法より密度の濃い実態把握を実現する。

具体的には、時間的、空間的に密度濃く街の賑いを把握できるプラットフォームを研究開発し、必要な時に必要な分解能で街の賑いマップを提供する。これにより、地域活性化の政策立案に寄与する。

2. 研究開発の概要

スマートフォンで収録した音響信号から「賑い度」を推定するアルゴリズムを研究開発する。ユーザがスマートフォンを操作中であっても、正確に推定できる点が特徴である。

また、不特定多数のスマートフォンから賑い度の収集を可能とするサーバを構築するとともに、ユーザにインセンティブを与えるために、ユーザが賑い度を共有できる仕組みを提供する。

3. 期待される研究開発成果、その社会的意義

スナップショット的な賑い度調査ではなく、賑い度の時間的変化や、イベントなどの面的な波及効果を把握することが可能となる。

施策結果の客観データを長期間に渡って蓄積することで、政策立案の幅と妥当性が向上する。

